

ITUAJより

編集後記

情報通信白書とは、総務省が情報通信の分野における産業の現況や政策の動向などを取りまとめた年次で発行している文書です。令和元年版の特集テーマは、「進化するデジタル経済とその先にあるSociety 5.0」です。ショルダーホン、パソコン通信といった懐かしい言葉が街を賑わせてから今に至るまで、携帯電話とネットが発展した一方、企業でのICT利用が進まず、「電子立国・日本」の栄光に影が差していった平成を振り返るとともに、デジタルプラットフォームやAIなどの新潮流、メディア環境の変化としての世論の二極化やネット炎上といった現状への踏み込み、今後の日本社会に必要な改革や課題、新たな働き方、地方のチャンスといったキーワード等、これまで、今、これからについて考えさせられる内容となっています。

本号スポットライト「令和元年版情報通信白書の概要」で、そのアウトラインが説明され、全文公開されているURLも紹介されています。ぜひ一読ください。

ITUジャーナル読者アンケート

アンケートはこちら https://www.ituaj.jp/?page_id=793

編集委員

委員長	亀山 渉	早稲田大学
委員	山口 典史	総務省 国際戦略局
〃	吉川 滂	総務省 国際戦略局
〃	伊藤 未帆	総務省 国際戦略局
〃	羽多野一磨	総務省 総合通信基盤局
〃	成瀬 由紀	国立研究開発法人情報通信研究機構
〃	岩田 秀行	日本電信電話株式会社
〃	中山 智美	KDDI株式会社
〃	福本 史郎	ソフトバンク株式会社
〃	熊丸 和宏	日本放送協会
〃	山口 淳郎	一般社団法人日本民間放送連盟
〃	側島 啓史	通信電線線材協会
〃	中兼 晴香	パナソニック株式会社
〃	牧野 真也	三菱電機株式会社
〃	東 充宏	富士通株式会社
〃	飯村 優子	ソニー株式会社
〃	江川 尚志	日本電気株式会社
〃	岩崎 哲久	東芝インフラシステムズ株式会社
〃	中平 佳裕	沖電気工業株式会社
〃	三宅 滋	株式会社日立製作所
〃	金子 麻衣	一般社団法人情報通信技術委員会
〃	杉林 聖	一般社団法人電波産業会
顧問	齊藤 忠夫	一般社団法人ICT-ISAC
〃	橋本 明	株式会社NTTドコモ
〃	田中 良明	早稲田大学

編集委員より

健常者と障害者の共存を考える

株式会社日立製作所

みやげ しげる
三宅 滋



ちょうど2年前の巻末言でも書かせていただきましたが、今回もバリアフリーについて、特に健常者と障害者の共存（インクルージョン）について課題と感ずる点を書きたいと思います。

ひとつは技術の進歩と法制度のギャップです。難聴者には重要な補装具であるデジタル補聴器や人工内耳も国内外メーカーが新製品を発表しています。補聴器では、高音域の性能が格段に改善したり、聴き取りに必要な音を強調する機能が充実したりするなど、障害を持つかたへの技術によるサポートは確実に進歩していると感じます。その反面、制度が壁となり新技術を試せない状況もありました。人工内耳と補聴器が連動して立体的な音場を表現できる製品が海外では1年ほど前から市販されていますが、国内の医療機器認証制度では想定外の組合せのために認証が困難でした。補聴器は管理医療機器、人工内耳は高度管理医療機器と認証クラスが異なり、調整を担当する資格者が異なるため、現行の制度では販売が難しいのだそうです。いくつかの障害者向けサービスでも、残念なことに技術の進歩に制度が追いついていなかったり、自治体によって対応が異なったりしています。

もうひとつは「障害者差別解消法」にうたわれている「合理的配慮」の判断基準です。この法律では、障害を理由に不利な扱いを受けないよう、過度な負担とならない範囲で障害者に配慮する努力義務を規定しています。重度難聴の息子も就学しましたが、健聴のお子さんと同様に過ごすことは難しく、先生がたに多くの配慮をいただいていた学校生活を送っています。しかし、「合理的配慮」には基準がなく、どのような配慮までお願いできるか、手探りで進んでいかねばなりません。

法律や制度は、技術の進歩や社会環境の変化に合わせて定期的な見直しをシステムティックに行われるのが望ましく、インクルージョンの実現には、国際標準規格と同様に、技術と制度の両輪から時節に合った基準を絶えず更新する必要があると感じます。

[注] 一般的な表記を「障害者」、法律の名称など特定の場合は「障害者」と表記しました。

ITUジャーナル

Vol.49 No.10 2019年10月1日発行／毎月1回1日発行

発行人 福岡 徹

一般財団法人日本ITU協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-17-11

BN御苑ビル5階

TEL.03-5357-7610 (代) FAX.03-3356-8170

編集人 岸本淳一、大野かおり、石田直子

編集協力 株式会社クリエイト・クルーズ

©著作権所有 一般財団法人日本ITU協会